

平成24年第3回定例会一般質問通告書

- 通告1番 山内孝樹 議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 震災後の文化財保護の推進と学習指導における文化財の取り組み
質問の相手 教育長
質問の要旨 町の文化財は長い歴史を通した先人の遺産である。震災により被害喪失を受けた文化財があるが、残る貴重な財産を通し、文化思想を伝承していく上で、文化財保護及び学校教育における文化財の学習指導の取り組みについて伺う。
- 通告2番 高橋兼次 議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 防災集団移転促進事業について
質問の相手 町長
質問の要旨 ①復興に向けて最も重要で大きな事業の一つである高台移転計画の進捗状況は。
②災害公営住宅建設計画と入居時期を伺う。
- 2件目
質問事項 東京電力福島第1原発事故について
質問の相手 町長
質問の要旨 ①放射性物質による農・水産物等への影響と風評被害に対する町の対応策を伺う。
- 通告3番 星喜美男 議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 住宅自立再建への支援策について
質問の相手 町長
質問の要旨 東日本大震災から1年が経とうとしています。町の集団移転事業もいよいよ具体的にスタートしようとしています。一方では、行政に頼ることなく、先祖より受け継いできた土地に住宅の再建を計画している人や、自らの力で土地を取得して再建を計画している人たちも多くいます。集団移転事業には巨額の財源を必要とすることなどを鑑みると、

こうした自立再建を目指す人たちへも手厚い支援を行う必要がある
と思うがどうか。

2 件目

質問事項

小中学校防災避難マニュアルについて

質問の相手

教育長

質問の要旨

最近、石巻市などの小中学校避難マニュアルが問題になっています。宮城県では津波で被害を受けた15の市と町の小中学校避難マニュアルを、来年度までに見直すよう指導するとしています。本町もその対象と思うが、これまでのマニュアルをどのように検証し、どのような見直しが行われているのか、現在の状況を伺います。

通告4番

三 浦 清 人 議員

質問方式

一問一答方式

質問事項

復興の取り組みについて

質問の相手

町長

質問の要旨

- ①人口流出と雇用対策は。
- ②高台移転の進捗状況は。
- ③今後の病院運営は。

通告5番

大 瀧 りう子 議員

質問方式

一問一答方式

1 件目

質問事項

医療費無料化の継続を

質問の相手

町長

質問の要旨

昨年3月11日の大震災から1年、被災者にとって職場を失い、収入の源を絶たれた厳しい生活である。特に病気を抱えた方にとって医療問題は深刻であり、震災によって、安定していた病気も悪化し、市に至った例も聞いている。

政府は今年9月までは国保の医療費と後期高齢者医療費の無料化を延長したが、入院や入所時の食費、室代は負担となる。さらにサラリーマン世帯の医療費の負担は被災前と同じとなっている。生活の再建の見通しが無いまま医療費の負担は大きく命を支える医療費の無料化は延長すべきと考える。また、当町の復興の担い手となる子どもの医療費を18才まで無料にすることを求めるものである。

2 件目

質問事項 災害公営住宅について

質問の相手 町長

質問の要旨 24年度は復興元年である。復興には住居の確保と職場の確保が急がれる。

アンケート調査によると、公営住宅希望者は19%で、特に65才以上の高齢者の割合が56.6%と高い数値となっている。次の点を伺う。

①木造建築には地元産材の活用と、地元職人の雇用を。

②高齢者に対応した建築を。

③家賃の基準価格は。

3 件目

質問事項 仮設住宅の環境整備を

質問の相手 町長

質問の要旨 仮設住宅については、寒さ対策の遅れや、水道管の凍結など、まだまだ不備な点が多く、入居者には厳しい冬を迎えている。特に孤独死については、サポート対策が急がれる。次の点を伺う。

①未設置集会所の予定建築は。

②高齢者住宅に緊急ブザーの設置を。

③支援員の教育指導は。

通告6番 菅原辰雄 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 医療福祉関連施設の一体化整備を

質問の相手 町長

質問の要旨 新しい町づくりにあたり公立病院、保健センター、特別養護老人ホーム、デイサービスなど散在していた関連施設の一体化整備について伺う。

2 件目

質問事項 町道、農林道の整備を

質問の相手 町長

質問の要旨 今回の被災時に各町道や農林道が多いに活用された。しかし急な坂道、カーブ、狭さゆえ、すれ違いもままならず時ならぬ大渋滞を引き起こしていた。それらを振り返り、今回活用された各道路の早急な整備を行うべきと考えるが町長の考えは。

通告7番 鈴木春光議員
質問方式 一問一答方式
1件目
質問事項 震災復興急ぐべき課題
質問の相手 町長
質問の要旨 ①産業の再生で雇用を図れ
(観光、農林業、水産業と雇用)
②公営住宅、復興住宅の早期取り組みを

2件目
質問事項 津波被災による公共施設はどうするのか
質問の相手 町長
質問の要旨 ①戸倉小学校は。
②松原住宅は。

通告8番 山内昇一議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 観光施設の復興を伺う
質問の相手 町長
質問の要旨 大震災による町内観光施設の再生は。

通告9番 千葉伸孝議員
質問方式 一問一答方式
質問事項 被災自治体に見合った財源支出を
質問の相手 町長
質問の要旨 ①南三陸町の印刷業務の2割であっても、町長の立場と業務発注最高責任者として、「兼業禁止」の法に抵触していないのか。
②町職員の地方公務員としての、被災地での町内事業所への、業務発注の公平・公正の意識に問題はないのか。
「町民の公僕」としての意味の再確認と、公務員道德教育の意識向上を図る考えは。
③行政の物品費・業務費発注の経費を節約・削減し、被災者支援経費捻出や雇用の場の創造の財源として、生活支援や環境整備などの支出に回すべきと思うが、町長の考えは。

通告10番	小山幸七議員
質問方式	一問一答方式
質問事項	南三陸町水産物、ワカメ、メカブ等のブランド化の取り組みについて
質問の相手	町長
質問の要旨	震災後の水産物が再生されてきているが、今後のワカメ、メカブ等のブランド化の取り組みについて伺う。